

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000623	長田野工業団地一般管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	産業立地課			
基本方針	02	既存産業を活性化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
320301	長田野工業団地一般管理事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先: 一般社団法人 長田野工業センター)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			長田野工業団地立地企業と市民との交流事業を支援する							
対象 (誰・何を対象に)			長田野工業団地立地企業、市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			長田野工業団地スポーツ大会(長田野企業、周辺自治会参加)への補助 30千円【負担金補助及び交付金】 賞状印刷費 36千円【需用費】 福知山市企業交流プラザ保険料 8千円【役務費】							
関連事業 (同一目的事業等)			なし							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	7	36	7	17
	負担金補助及び交付金	千円	30	30	30	30
	役務費	千円	9	8	8	7
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	6	0	9	0
小計	千円	52	74	54	54	
B	人件費	千円	58	58	16	16
総事業費(A+B)		千円	110	132	70	70
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	110	132	70	70	

計画事業評価表

計画事業		000623 長田野工業団地一般管理事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	活動実績	長田野工業団地企業見学会開催回数	目標	回	1	1	1	1
			実績			1	1	1
			単位コスト	千円 / 回		74.000	54.000	54.000
	活動実績	長田野工業団地スポーツ大会開催回数	目標	回	1	1	1	1
			実績			1	1	1
			単位コスト			74.000	54.000	54.000
	成果実績	長田野工業団地企業見学参加人数	目標	人	30	40	40	40
			実績			30	30	88
			単位コスト					
成果実績	長田野工業団地スポーツ大会参加チーム数	目標	チーム		30	30	30	
		実績			35	39	37	
		単位コスト						
成果実績	長田野工業団地の工業出荷額	目標	億円	2695	2,636	2,375	2,375	
		実績			2695	2,636	2,521	
		単位コスト						

事項		担当課評価	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		長田野工業団地企業との円滑な操業を図るため企業と市民との交流事業を市が支援することは必要である。	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市民の参加があり長田野工業団地企業との交流が図れており、有効な事業となっている。	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市民との交流事業への支援は市が負担できる必要最低限の支援でありコスト削減の余地はない。	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 現状のとおり、近隣市民と長田野工業団地及び団地内企業の交流を促進する。	
成果の方向性	拡充	×	
	維持	×	×
	縮小	×	×
	休廃止		×
コスト投入の方向性		皆減	縮小 維持 拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000624	アネックス京都三和 企業誘致対策事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	産業立地課			
基本方針	03	企業誘致を推進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
320302	アネックス京都三和 企業誘致対策事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法			補助金 (補助先: 長田野工業団地アネックス京都三和立地企業)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			<ul style="list-style-type: none"> ・長田野工業団地アネックス京都三和をPRすることにより企業誘致を図る。 ・長田野工業団地アネックス京都三和立地企業に対して水道使用料に係る奨励金を交付し操業を支援する。 							
対象 (誰・何を対象に)			国内外企業、長田野工業団地アネックス京都三和立地企業							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致図るため企業展(東京、北九州)へ出展し長田野工業団地アネックス京都三和をPRする。(企業展出展料 958千円【使用料及び賃借料】、企業展出張旅費 400千円【旅費】、来場記念品等消耗品費 193千円【需用費】) ・長田野工業団地アネックス京都三和案内看板照明電気代 57千円【需用費】 ・企業支援サービス 300千円【委託料】 ・長田野工業団地アネックス京都三和立地企業の水道使用料に係る奨励金の交付(工場等で使用した水道料金に係る水道単価について100円/m3を基本として、それを超える料金相当額を奨励金として交付する。平成22年度までに立地した企業に適用。) 1,766千円(6社)【負担金補助及び交付金】							
関連事業 (同一目的事業等)			企業誘致対策 一般管理事業、企業誘致促進対策事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	2,170	1,766	1,776	1,771
		使用料及び賃借料	千円	791	958	1,332	0
		旅費	千円	286	400	322	0
		委託料	千円	300	300	0	0
		需用費	千円	220	250	345	347
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	1,602
	小計	千円	3,767	3,674	3,775	3,720	
	B	人件費	千円	3,075	3,075	2,080	2,080
	総事業費(A+B)	千円	6,842	6,749	5,855	5,800	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	6,842	6,749	5,855	5,800	

計画事業評価表

計画事業		000624 アネックス京都三和 企業誘致対策事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	企業展 出展回数	目標	回	2	2	2	2
		実績			2	4	2
		単位コスト	千円/回		775.5	943.750	1860.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	長田野工業団地アネックス京都三和分譲済面	目標	ha	10	10.0	9.0	8.0
実績				5.11	5.11	4.26	
長田野工業団地アネックス京都三和分譲済割	目標	%	32.3	32.3	29.1	25.9	
	実績			16.5	16.5	13.8	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		企業誘致を図るため長田野工業団地アネックス京都三和をPRすることは必要である。また、企業誘致の優遇制度となる水道使用料の奨励金は企業誘致を図るのに必要である。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		企業誘致を図るため長田野工業団地アネックス京都三和をPRすることは有効である。また企業誘致のための優遇制度は企業誘致を図るのに有効である。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		コスト削減については、水道使用料の奨励金制度を平成23年度見直し、平成23年度以降新規立地企業に対しては5か年を限度としている。また、企業展への出展については、来場者数の多い企業展へ出展することにより効率的なPRを行う必要がある				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 企業展示会の出展により、短期間で数十社の企業と接触を行いその後の企業訪問に繋がった。また、(一財)電源地域振興センターの事業の委託により、東京圏を中心に安価で効果的な企業訪問やPR、展示会出展、職員研修を実施することが出来た。既存のアネックス京都三和への企業に対しては、水道使用料の補助により操業支援を実施できた。今後は企業誘致を首都圏、京阪神にとどまらず積極的に地方都市圏への企業へもPRを図りアネックス京都三和への誘致を促進する。				
成果の方向性	拡充 × ○					
	維持 × ×					
	縮小 × ×					
	休廃止 × ×					
皆減 縮小 維持 拡充		コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000625	企業誘致対策 一般管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	産業立地課			
基本方針	03	企業誘致を推進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
320303	企業誘致対策 一般管理事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者: 福知山市シルバー人材センター)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			<ul style="list-style-type: none"> ・長田野工業団地アネックス京都三和 緑地の維持管理業務 ・企業訪問により企業誘致を図る 							
対象 (誰・何を対象に)			国内外企業、財産管理							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問に係る出張旅費 504千円【旅費】 ・長田野工業団地アネックス京都三和 緑地の維持管理業務(除草) 581千円【役務費】 ・事務経費(一般管理事業)消耗品費、印刷製本費 202千円【需用費】、電話代、郵便代、荷物運搬料 110千円【役務費】、高速道路通行料25千円【使用料及び賃借料】 							
関連事業 (同一目的事業等)			アネックス京都三和 企業誘致対策事業、企業誘致促進対策事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	744	581	627	767
		旅費	千円	701	504	647	0
		需用費	千円	166	203	264	232
		役務費	千円	253	110	219	237
		使用料及び賃借料	千円	115	25	48	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	106	0	0	592
	小計	千円	2,085	1,423	1,805	1,828	
	B	人件費	千円	3,561	3,561	1,885	1,760
	総事業費(A+B)	千円	5,646	4,984	3,690	3,588	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	73	73	73	0	
	一般財源	千円	5,573	4,911	3,617	3,588	

計画事業評価表

計画事業		000625 企業誘致対策 一般管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	企業誘致に係る訪問回数	目標	人・回		52	52	52
		実績		48	61	47	
		単位コスト		千円 / 人・回	29.646	29.590	38.894
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
長田野工業団地アネックス京都三和分譲済面	目標	ha	10.0	10.0	9.0	8.0	
	実績		5.11	5.11	4.26		
長田野工業団地アネックス京都三和分譲済割	目標	%	32.3	32.3	29.1	25.9	
	実績		16.5	16.5	13.8		
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		企業誘致を図るため企業訪問は必要である。 また、長田野工業団地アネックス京都三和の緑地の維持管理は企業誘致を図るのに必要である			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		企業誘致を図るため企業訪問は有効である。 また、長田野工業団地アネックス京都三和の緑地の維持管理は企業誘致を図るのに有効である			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地道な企業訪問が企業誘致に結び付いている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 企業誘致には地道な企業訪問と情報収集が必須であり、今後も継続して活動を実施する。			
成果の方向性	拡充	x			○
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
	皆減 縮小 維持 拡充		コスト投入の方向性		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000626	ヴィラージュみわ 一般管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	産業立地課			
基本方針	03	企業誘致を推進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	市条例									
構成予算事業			会計		款		項		目	
320307	ヴィラージュみわ 一般管理事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			企業誘致の優遇制度として長田野工業団地アネックス京都三和立地企業従業員専用住宅を設置している。							
対 象 (誰・何を対象に)			長田野工業団地アネックス京都三和立地企業従業員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			・立地企業専用住宅維持管理費 共用部電気代等62千円、電球等消耗品5千円、修繕料233千円【需用費】、入退去時清掃費142千円【役務費】、保険料20千円【役務費】、周辺除草45千円【委託料】							
関連事業 (同一目的事業等)			なし							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	283	300	74	222
	役務費	千円	264	162	169	195
	委託料	千円	30	45	43	30
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	23	0
小計	千円	577	507	309	447	
B	人件費	千円	930	930	785	160
総事業費(A+B)		千円	1,507	1,437	1,094	607
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	577	294	406	447
地方債・その他特財 コメント						
一般財源	千円	930	1,143	688	160	

計画事業評価表

計画事業		000626 ヴィラージュみわ 一般管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	入居者数	目標	人	20	20	20	20
		実績			12	10	9
		単位コスト		千円/人		42.250	30.900
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
入居者数	目標	人	20	20	20	20	
	実績			12	10	9	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		工業団地周辺に住宅がなく立地企業従業員専用の住宅は企業誘致の優遇制度として必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		工業団地周辺に住宅がなく立地企業従業員専用の住宅は企業誘致の優遇制度として有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市が立地企業従業員専用住宅を用意することにより企業誘致の優遇制度の一つとなっている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 工業団地周辺に住宅がなく立地企業従業員専用の住宅は企業誘致の優遇制度として有効である。今後附属する設備の更新時期を見極めた対応が必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000627	企業誘致促進特別対策事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	農林商工部			
基本理念	42	商工業の振興				担当課	産業立地課			
基本方針	03	企業誘致を推進する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	市条例									
構成予算事業			会計		款		項		目	
320304	企業誘致促進特別対策事業		01	一般会計	07	商工費	01	商工費	02	商工業振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 : 新設増設企業)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			長田野工業団地アネックス京都三和への企業誘致と既存企業の操業を支援するため、工場の新設・増設に奨励金を交付するとともにその雇用に対しても奨励金を交付し、地域経済の活性化と雇用の確保による定住の促進を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市内において新規立地企業並びに新設、増設を行う企業							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			工場の新設、増設に奨励金の交付、それに伴う雇用に対しても奨励金を交付1,900千円【負担金補助及び交付金】 企業誘致協議会への負担金の支出 580千円【負担金補助及び交付金】 京都北中核工業団地企業誘致推進協議会 500千円【負担金補助及び交付金】 京都市府市町村企業誘致連絡会議 80千円【負担金補助及び交付金】							
関連事業 (同一目的事業等)			アネックス京都三和 企業誘致対策事業、企業誘致対策 一般管理事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	51,580	2,480	14,291	26,388
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	400	0	0	2,426
	小計	千円	51,980	2,480	14,291	28,814
	B 人件費	千円	1,885	1,885	3,540	3,040
	総事業費(A+B)	千円	53,865	4,365	17,831	31,854
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	51,000	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	2,865	4,365	17,831	31,854

計画事業評価表

計画事業		000627 企業誘致促進特別対策事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	工場等の新設・増設にともなう奨励金支出件	目標	件	3	3	3	3
		実績			3	5	2
		単位コスト		千円/件		826.667	2858.200
	雇用奨励金支出人数	目標	人	85	85	85	90
		実績			18	50	65
		単位コスト			137.778	285.820	443.292
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	長田野工業団地アネックス京都三和分譲済面	目標	ha	10.0	10.0	9.0	8.0
		実績			5.11	5.11	4.26
	長田野工業団地アネックス京都三和工場用地	目標	件	3	3	3	3
		実績			0	1	2
	長田野工業団地アネックス京都三和分譲割合	目標	%	32.3	32.3	25.9	22.7
		実績			16.5	16.5	13.8

事項		担当課評価			
担当課評価	事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	地域経済の活性化と雇用の確保による定住の促進を図るため、新規企業の誘致と工場等の増設を支援する優遇制度や協議会と連携した企業誘致活動は必要である。			
	事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	地域経済の活性化と雇用の確保による定住の促進を図るため、新規企業の誘致と工場等増設を支援する優遇制度や協議会と連携した企業誘致活動は有効である。			
	事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	地域経済の活性化と雇用の確保による定住の促進を図るため財源を有効に活用し効率的な事業を行う必要がある。			
	コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 市内企業の新たな設備投資により、新規雇用を創出することが出来た。今後も引き続き市内企業の設備投資に支援を行なうとともに、アネックス京都三和への企業誘致については、より一層進めていく必要がある。			
成果の方向性	拡充 <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				
	維持 <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>				
	縮小 <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>				
	休廃止 <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>				
皆減 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 拡大					
コスト投入の方向性					